

山形県に大雨特別警報発表

- これまでに経験したことのないような大雨
- 災害がすでに発生している可能性が極めて高く、警戒レベル5に相当
- 命の危険が迫っているため直ちに身の安全を確保

警戒レベル	取るべき行動
5	命の危険 直ちに安全確保！
～＜警戒レベル4までに必ず避難！＞～	
4	危険な場所から 全員避難
3	危険な場所から 高齢者等は避難
2	自らの避難行動 を確認
1	災害への心構え を高める

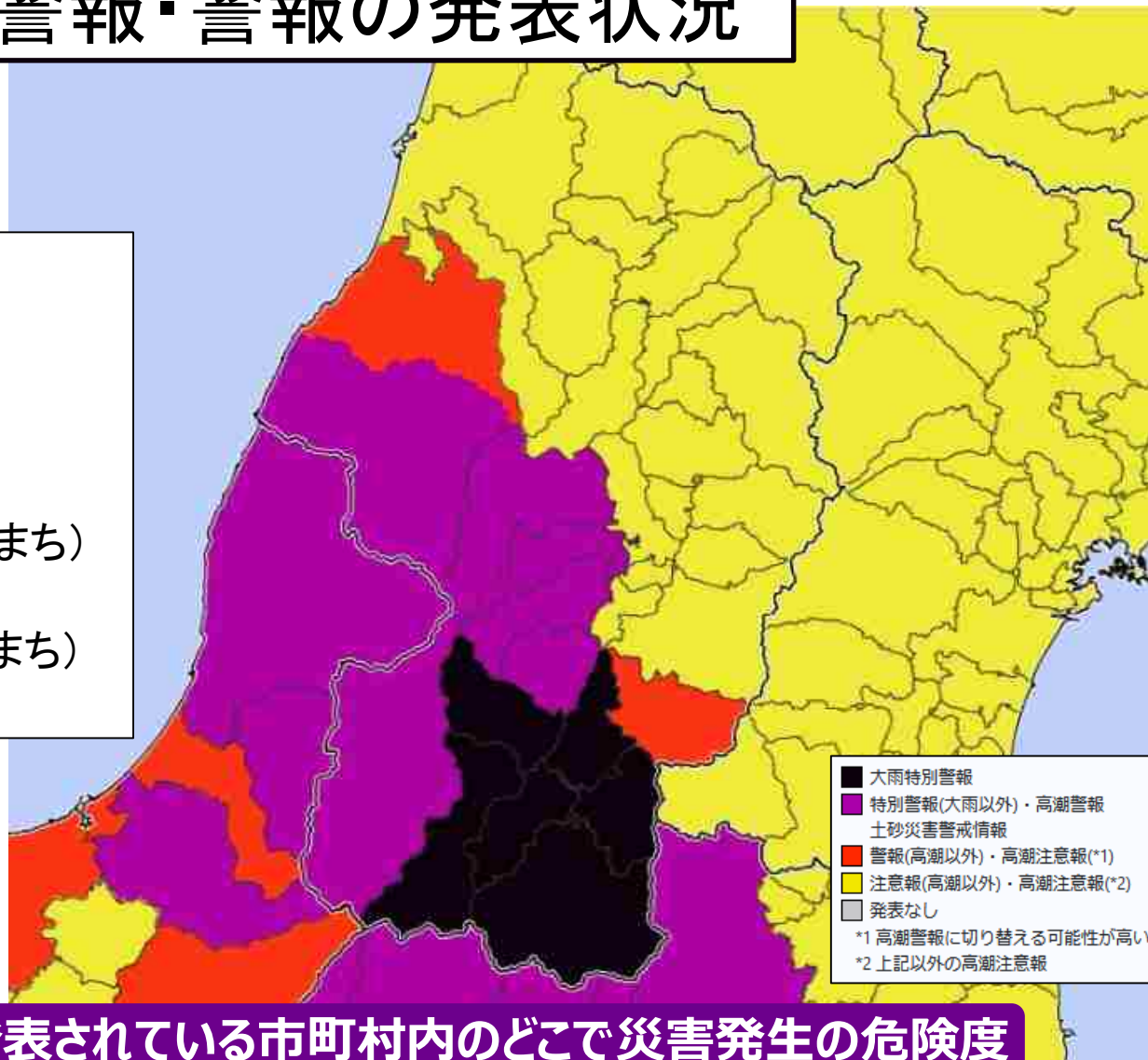
山形県に大雨特別警報発表

- 今後、他の市町村にも特別警報発表の可能性。
- 特別警報の発表を待つことなく、避難情報に直ちに従い身の安全を確保
- 今いる場所の危険度を「キキクル（危険度分布）」で確認

特別警報・警報の発表状況

2022年8月3日20時現在

- ・長井市(ながいし)
- ・西置賜郡飯豊町
(にしおきたまぐんいいでまち)
- ・南陽市(なんようし)
- ・東置賜郡高畠町
(ひがしおきたまぐんたかはたまち)
- ・東置賜郡川西町
(ひがしおきたまぐんかわにしまち)
- ・米沢市(よねざわし)

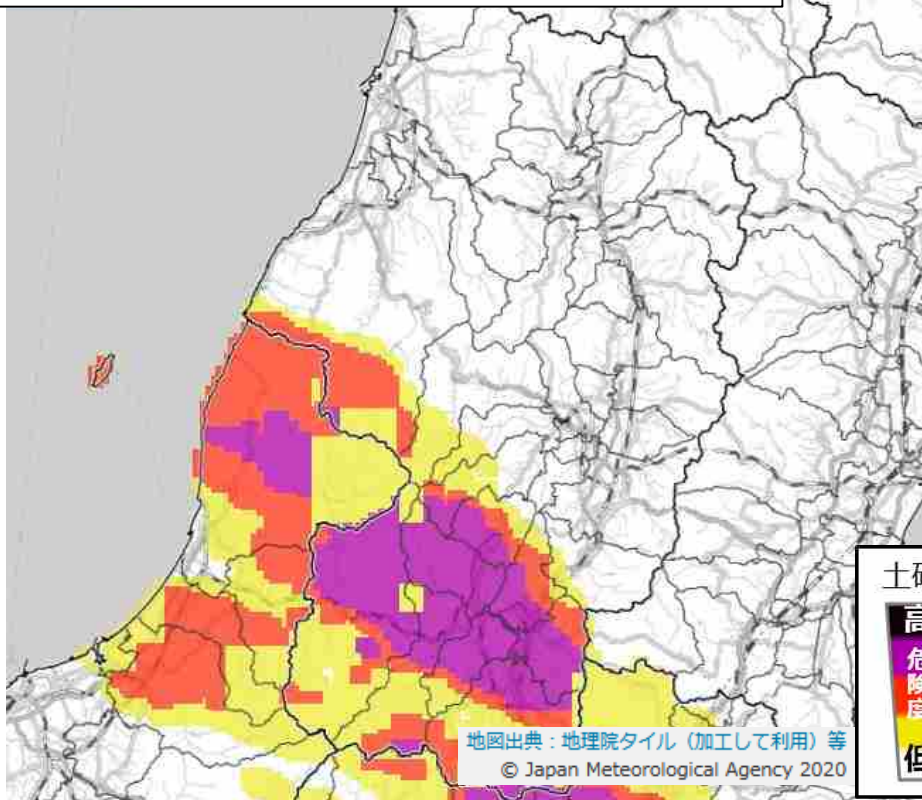


特別警報・警報が発表されている市町村内のどこで災害発生の危険度が高まっているかを「キキクル（危険度分布）」で確認してください。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

キキクル(危険度分布)

土砂災害 2022年8月3日19時40分



土砂災害の危険度

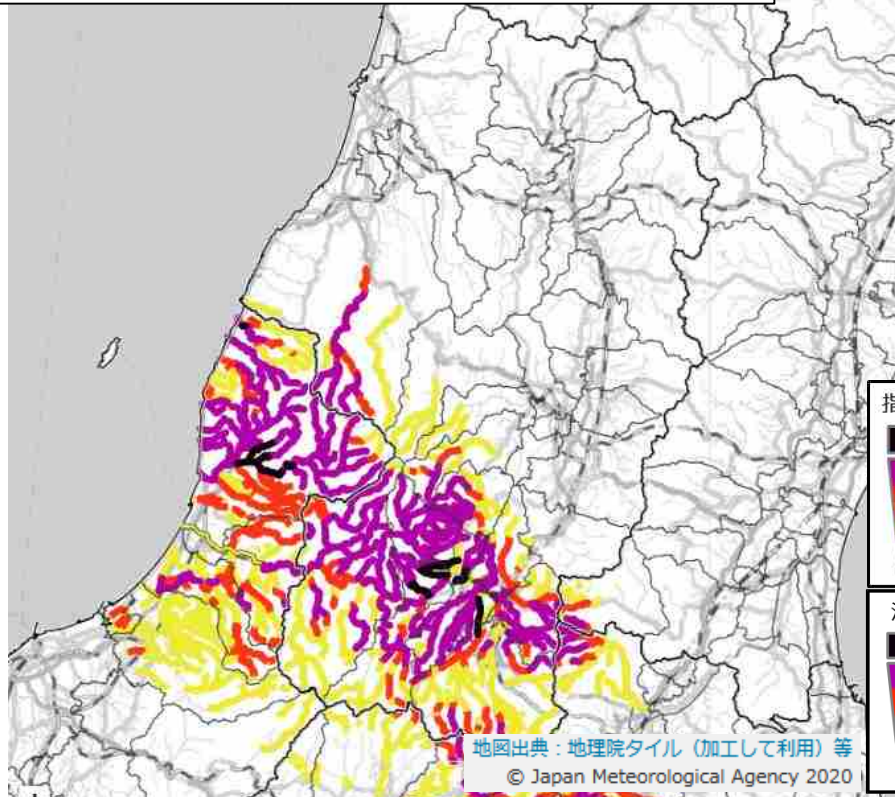
高	黒	災害切迫	【警戒レベル5相当】
危険度	紫	危険	【警戒レベル4相当】
	赤	警戒	【警戒レベル3相当】
低	黄	注意	【警戒レベル2相当】
	白	今後の情報等に留意	

- 警戒レベル5に相当する「災害切迫」(黒)となっている場所では、重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況となっています。土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等することが重要です。
- 警戒レベル4に相当する「危険」(紫)となっている場所では、重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況となっています。危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(キキクル(危険度分布)：<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:land>)

キキクル(危険度分布)

洪水害 2022年8月3日19時40分

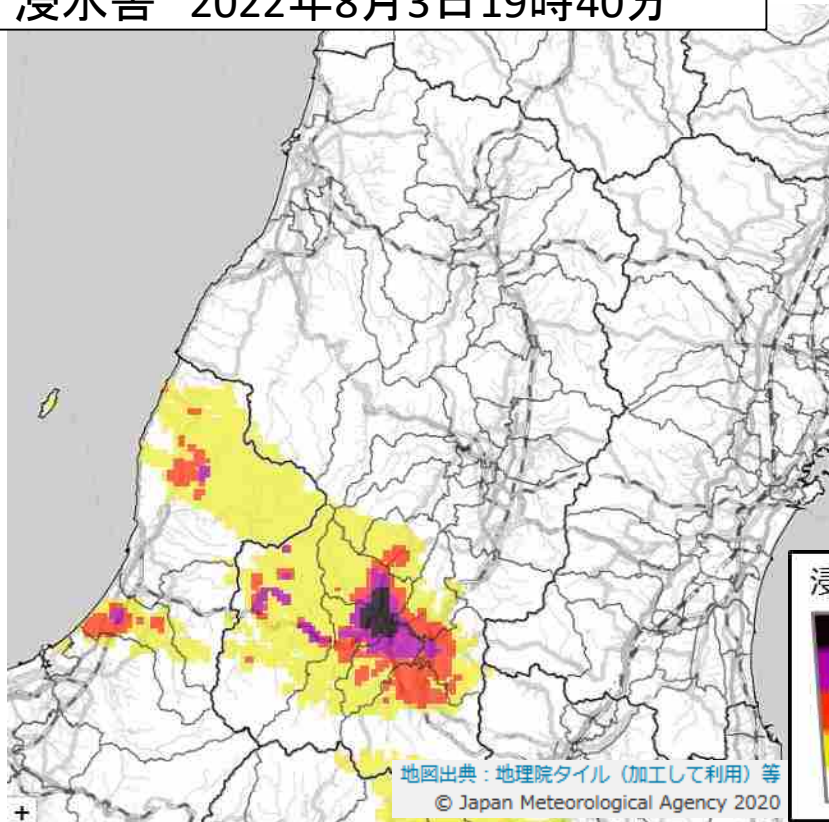


- 警戒レベル5に相当する「災害切迫」（黒）となっている場所では、重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況となっています。土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等することが重要です。
- 警戒レベル4に相当する「危険」（紫）となっている場所では、重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況となっています。危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(キキクル(危険度分布) : <https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood>)

キキクル(危険度分布)

浸水害 2022年8月3日19時40分



浸水害の危険度

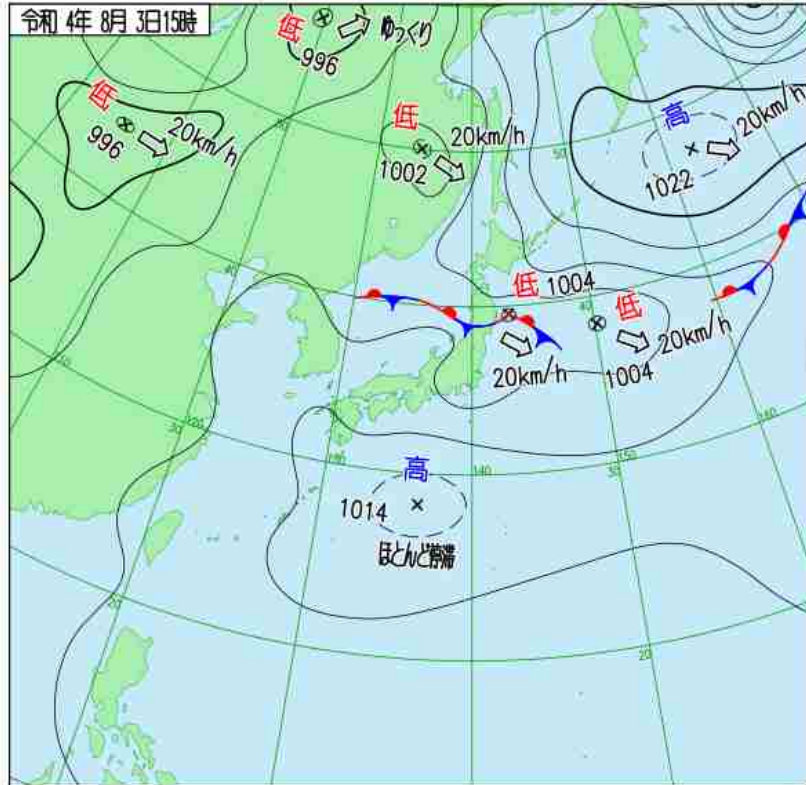
高
危険度
低

黒	災害切迫【警戒レベル5相当】
紫	危険
赤	警戒
黄	注意
白	今後の情報等に留意

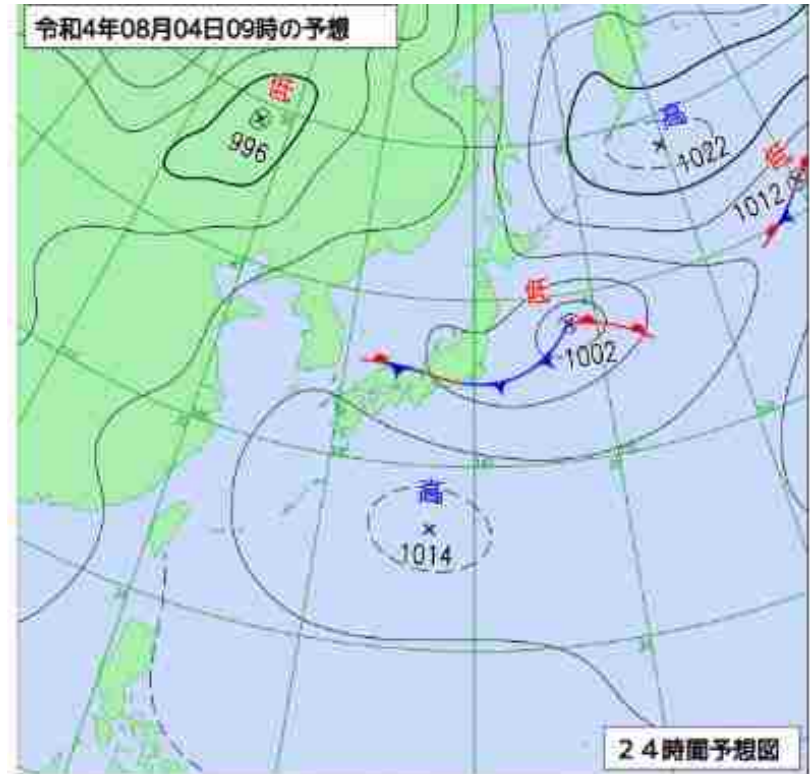
- 警戒レベル5に相当する「災害切迫」(黒)となっている場所では、**重大な災害が切迫しているか、すでに発生している可能性が高い状況**となっています。土砂災害警戒区域や浸水想定区域等の危険な場所からまだ避難できていない方は、いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等することが重要です。
- 警戒レベル4に相当する「危険」(紫)となっている場所では、**重大な災害がいつ発生してもおかしくない状況**となっています。危険な場所にいる方は速やかに安全な場所に避難することが重要です。

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(キキクル(危険度分布) : <https://www.ima.go.jp/bosai/risk/#elements:inund>)

天気図



地上天気図



予想天気図
(08月04日09時予想)

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(天気図：https://www.jma.go.jp/bosai/weather_map/)

降り始めからの降水量

降り始めからのアメダス総雨量(速報値) 山形県
08月02日12時から08月03日19時まで

アメダス観測所	総雨量(mm)
飯豊町高峰(いいでまち たかみね)	200.5
小国(おぐに)	210.0
長井(ながい)	196.0
米沢(よねざわ)	140.0

大雨の警報級となる可能性のある期間

山形県	3日		4日							備考・ 関連する現象
	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	
大雨 (浸水)	50	50	50	50	10	15				浸水警戒
大雨 (土砂災害)										土砂災害警戒
洪水										氾濫
雷										竜巻、ひょう

- 大雨特別警報
 - 特別警報(大雨以外)・高潮警報・土砂災害警戒情報
 - 警報(高潮以外)・高潮注意報(*1)
 - 注意報(高潮以外)・高潮注意報(*2)
 - 予想期間外
- *1 高潮警報に切り替える可能性が高い
*2 上記以外の高潮注意報

- 大雨の警報級となる可能性のある期間
- 可能性がある
- 可能性が高い

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象警報・注意報：<https://www.jma.go.jp/bosai/map.html#contents=warning>)

今後の雨の予想

3日18時～4日18時

山形県 180ミリ

4日明け方にかけて


1時間に50ミリの非常に激しい雨

局地的には1時間に80ミリの猛烈な雨

今後の予想を含めた最新の情報は地元の気象台が発表した気象情報をご利用ください。
(気象情報：<https://www.ima.go.jp/bosai/map.html#contents=information&element=information>)

関連資料の掲載場所

※アイコンをクリックすると気象庁HPが表示されます。



[@JMA_bousai](https://twitter.com/JMA_bousai)
気象庁公式の防災情報アカウントを開設しました。台風接近や大雨のおそれがある場合等に、現況や今後の見通し、防災上の留意点、緊急会見の内容等を解説します。



気象庁の公式チャンネルです。緊急記者会見の様などをお届けします。最新の防災気象情報については、気象庁ホームページやツイッターをご覧ください。



- 避難行動判定フロー・避難情報のポイント（内閣府（防災担当））
http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline/pdf/point.pdf
- 新型コロナウイルス感染症が収束しない中での避難について（内閣府（防災担当）・消防庁）
<http://www.bousai.go.jp/pdf/colonapoint.pdf>

(参考) 大雨による災害の留意事項①

大雨が降ると…

一瞬にして多くの人命や財産を奪ってしまう
土砂災害が発生！

崖崩れや土石流の発生を確認して
から避難することはできない。



広島市の土石流による被害の様子
(平成26年8月20日気象庁撮影)

平成26年8月豪雨では、広島県広島市で土石流が発生し、人的被害をもたらした。

中小河川は**水位が急激に上昇！**

中小河川は、大雨が降ると短時間のうちに急激な水位上昇が起こりやすい。



福岡県朝倉市を流れる北川の様子
(出典：国土地理院ホームページ)

平成29年7月九州北部豪雨では、福岡県朝倉市の赤谷川、北川等で水位が短時間で上昇して氾濫が発生し、人的被害をもたらした。

大河川は**広範囲・長時間浸水！**

大河川で水が堤防を越えたり堤防が決壊したりすると、広範囲が長時間浸水するなど大きな被害となる。



茨城県常総市の浸水被害
(資料：国土交通省関東地方整備局)

平成27年9月関東・東北豪雨では、鬼怒川の氾濫で茨城県常総市の約3分の1の面積が浸水し、浸水が概ね解消するまでに10日を要した。

ハザードマップを参考に、
キキクルや指定河川洪水予報を活用し、

安全に避難できる早い段階で避難開始を判断することが重要！

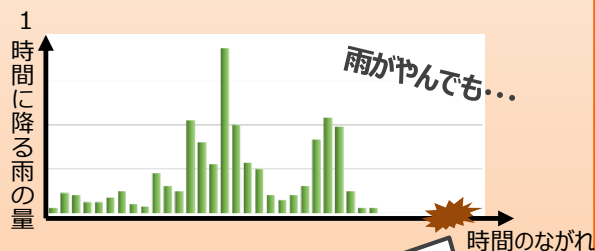


(参考) 大雨による災害の留意事項②

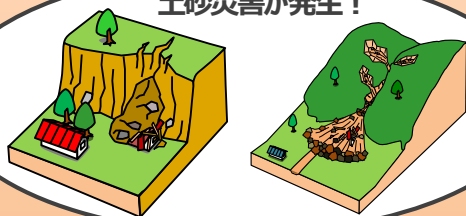
大雨がやんでも…

土砂災害の危険が継続！

雨が弱まったりやんだりしても、それまでに降った大雨により地盤が緩んだ状態が続き、土砂災害が発生することがある。

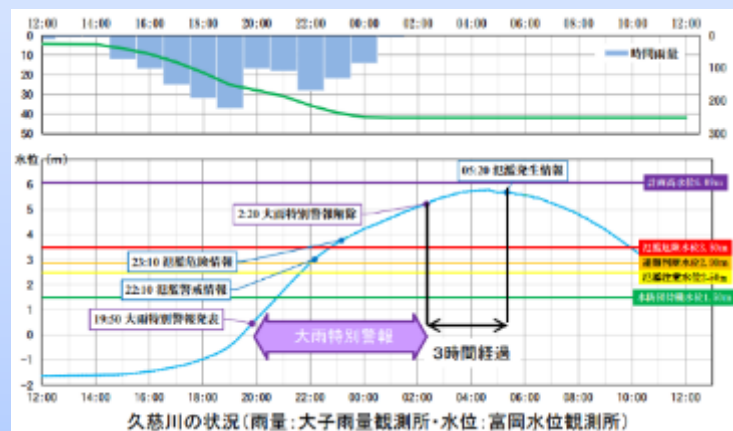


土砂災害が発生！



油断禁物！ 大河川は時間差で増水

大河川は上流の雨により下流で遅れて増水する。このため、大雨が止んだ後であっても、水位が上昇し氾濫することがある。



(出展：「第1回気候変動を踏まえた水災害対策検討小委員会」資料に加筆)

令和元年東日本台風では、吉田川、阿武隈川、石田川、蛇尾川、都幾川、越辺川、久慈川、千曲川の7河川で大雨特別警報解除後に氾濫発生情報を発表している。

避難先から家に帰る前に

自治体の避難情報や気象情報を確認することが大切！

危険な状況ではなくなったことを確認してから家に帰りましょう。



位置づけ・役割

<位置づけ>

大雨特別警報は、避難指示に相当する気象状況の次元をはるかに超えるような現象をターゲットに発表するもの。発表時には何らかの災害がすでに発生している可能性が極めて高い。

<役割>

- (1) 土砂災害警戒区域や浸水想定区域など、災害の危険性が認められている場所からまだ避難できていない住民が直ちに命を守る行動を徹底
- (2) 災害が起きないと思われているような場所においても災害の危険度が高まる異常事態であることの呼びかけ
- (3) 速やかに対策を講じないと極めて甚大な被害が生じかねないとの危機感を防災関係者や住民等と共有することによる、被害拡大の防止や広域の防災支援活動の強化

(参考) 5段階の警戒レベルと防災気象情報

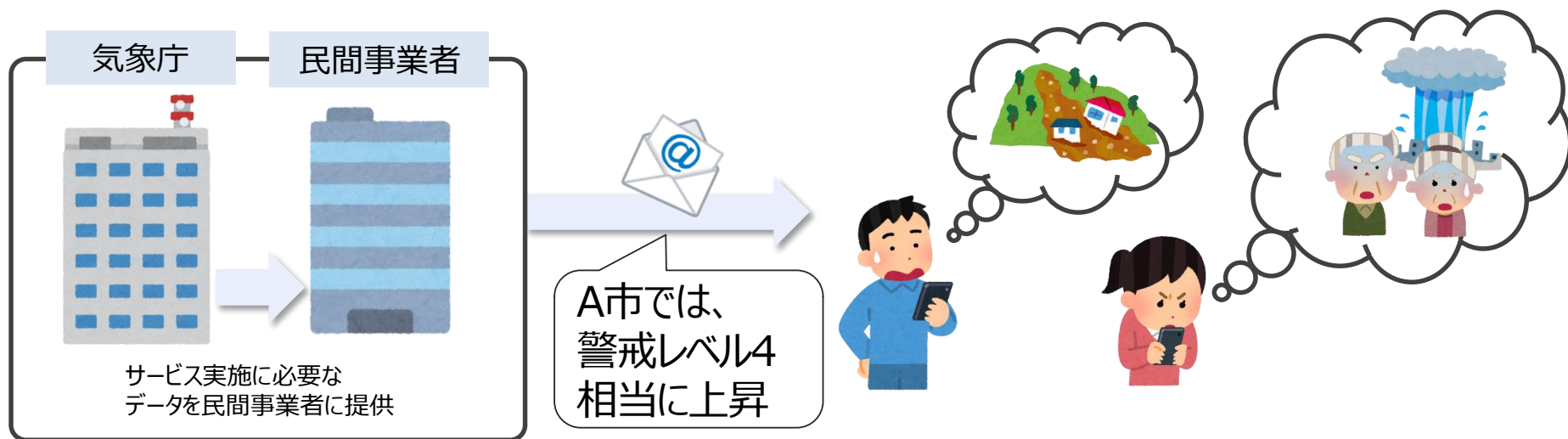
警戒レベル	住民が取るべき行動	市町村の対応	気象庁等の情報	キキクル (危険度分布)	相当する警戒レベル			
5	命の危険 直ちに安全確保! ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない	大雨特別警報	災害切迫	5相当			
<警戒レベル4までに必ず避難!>								
4	危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	土砂災害警戒情報	高潮警報	高潮特別警報	危険	氾濫危険情報	4相当
3	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	※ 大雨警報 洪水警報	※ 高潮警報に切り替える可能性が高い注意報	警戒	氾濫警戒情報	3相当	
2	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制)	大雨警報に切り替える可能性が高い 注意報	高潮注意報	注意	氾濫注意情報	2相当	
1	災害への心構えを高める	・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認	大雨注意報 洪水注意報	早期注意情報(警報級の可能性)				

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

※ 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

(参考)「キキクル(危険度分布)」の通知サービスについて

- 土砂災害や洪水等からの自主的な避難の判断に役立ていただくために、危険度が高まったときにメールやスマホアプリでお知らせするプッシュ型の通知サービス※1を実施しています。
- この通知は市町村からの避難指示等よりも先に届く場合があります。このため、通知を受信したときには、市町村からの避難指示等を確認するとともに、避難指示等が発令されていなくても、市町村内のどこで危険度が高まっているかを「キキクル(危険度分布)」の地図や河川の水位情報等で確認することで、自主的な避難の判断※2・3に活用いただけます。

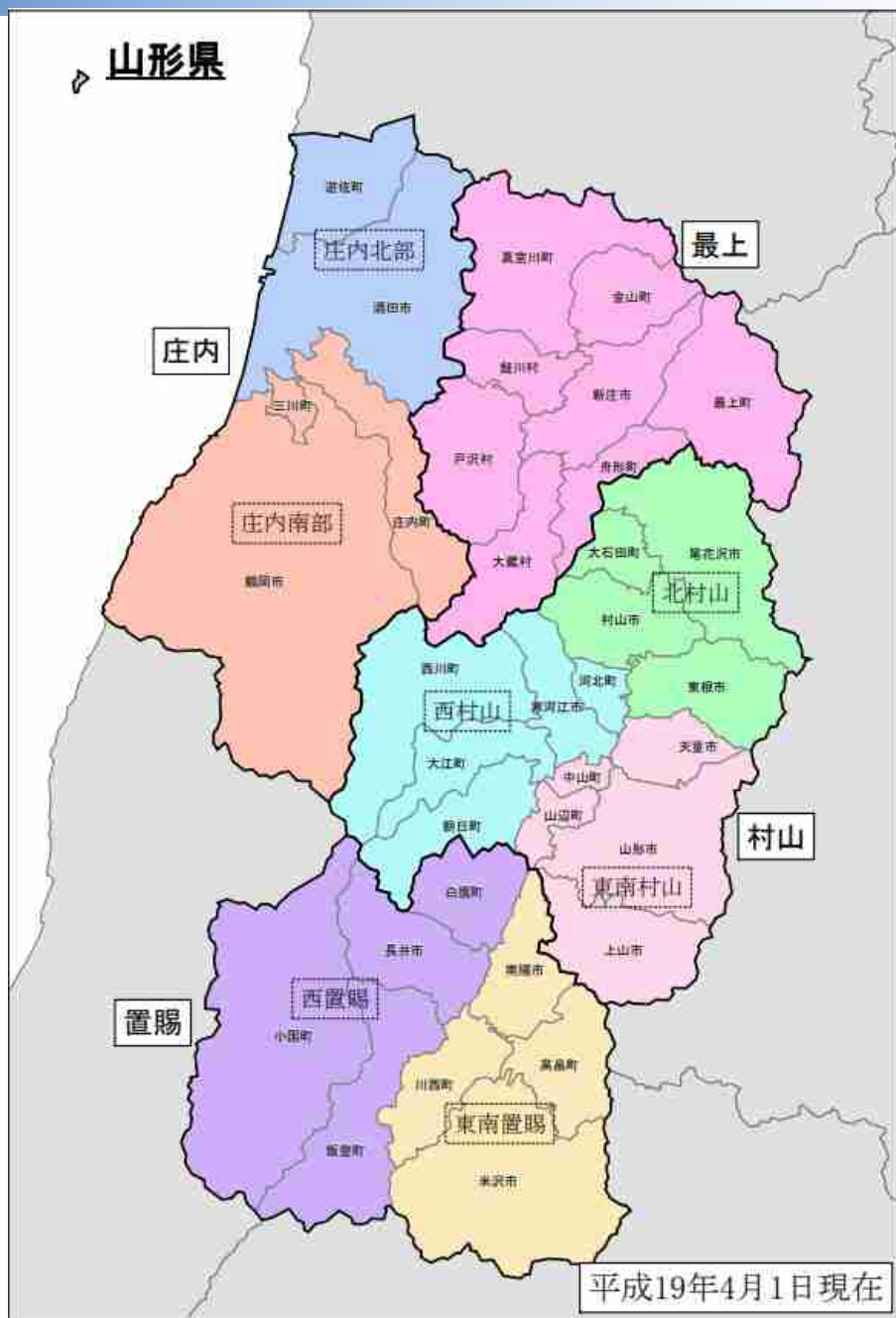


※1 住民の主体的な避難の判断を支援する取組の一環として、気象庁の協力のもとで、以下のリンク先の5つの事業者が実施するものです。
(https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/bosai/ame_push.html)。

※2 離れた場所に暮らしている家族に避難を呼びかけることにも活用いただくことができます。

※3 避難にあたっては、指定された避難場所への避難がかえって危険な場合には、少しでも崖や沢から離れた建物や、少しでも浸水しにくい高い場所へ移動するなど、自らの判断でその時点で最善の安全確保行動をとることが重要です。

(参考) 「キキクル (危険度分布)」の通知サービスについて



河川の洪水と土砂災害の情報提供

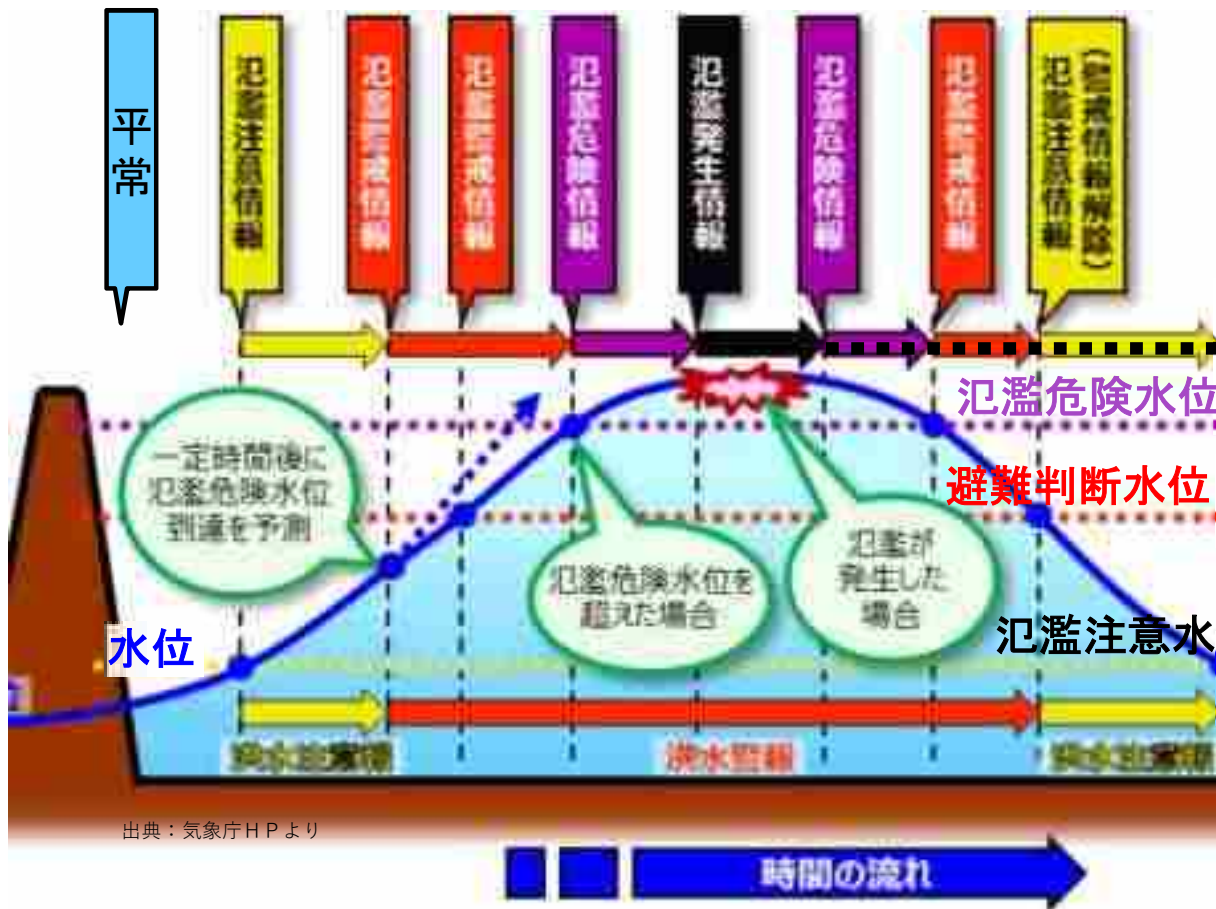
令和4年8月3日

東北地方整備局
河川調査官

- 最上川や赤川では大雨により、水位が上昇しています。
- 水位は、さらに上昇することが予想されます。
- 川の堤防が無いところや低いところでは、**氾濫する可能性**が有りますので、市町村が発令する避難情報に従い、早めの行動をお願いします。
- 川の水位や映像等の情報は、国土交通省HPの「川の防災情報」で確認をお願いします。

川の水位情報と避難行動等

◆川の水位（上昇）に応じた情報に基づき、
迷わず・空振りをおそれず【避難】行動を！



出典：気象庁HPより

避難行動等

- 〔氾濫発生情報〕**
【L 5 (緊急安全確保) 相当】
命の危険
直ちに安全確保！
- 〔氾濫危険情報〕**
【L 4 (避難指示) 相当】
危険な場所から全員避難
- 〔氾濫警戒情報〕**
【L 3 (高齢者等避難) 相当】
危険な場所から
高齢者等は避難
- 〔氾濫注意情報〕**
ハザードマップ・
気象情報の確認
- 〔平常〕**
リスク情報の把握
避難訓練の実施

浸水の可能性が高まっている河川

「川の防災情報」のホームページでは、浸水の可能性が高まっている河川が一覧表で確認できる。
危険度レベルが高い順で表示

The screenshot displays a web interface for '川の防災情報' (River Disaster Information). The main content is a table listing rivers with high flood risk. Each row includes a river name, a date (e.g., 2023.08.22), a risk level indicator (e.g., 危険度レベル), and a button labeled '詳細' (Details). The table is sorted by risk level in descending order.

河川名	危険度レベル	詳細
1 利根川	危険度レベル	詳細
2 荒川	危険度レベル	詳細
3 利根川	危険度レベル	詳細
4 荒川	危険度レベル	詳細
5 利根川	危険度レベル	詳細
6 荒川	危険度レベル	詳細
7 利根川	危険度レベル	詳細
8 荒川	危険度レベル	詳細
9 利根川	危険度レベル	詳細
10 荒川	危険度レベル	詳細

過去の浸水状況(令和2年10月洪水)

最上川では、越水4箇所(村山市、大石田町2箇所、大蔵村)、
溢水5箇所(新庄市、大石田町、河北町2箇所、大江町)発生。



過去の浸水状況(昭和42年8月洪水)

昭和42年8月28日早朝から前線の影響で降り出した雨は、夕方から29日の早朝にかけて激しさを増し西置賜地方を中心に、大きな被害が発生。
山形県では今でも戦後最大の水害となっています。

**山形県史上
空前の大水害**
それは、
**50年前に
起きていた!**

総雨量 8h 総雨量 137h
浸水区域 約597km² 約1,900ha
浸水区域 2,207戸 浸水区域 4,727戸
浸水区域 10,149戸
浸水区域 14,177ha



鉄道 約20億円
約52億7,000万円



道路 約11億5,000万円
約30億3,000万円



家屋倒壊 約17億9,000万円
約47億2,000万円



市街地 約14億5,800万円
約38億7,000万円



濁流 約226棟3,800万円
約597億1,900万円

河川カメラによる状況確認(川の防災情報)

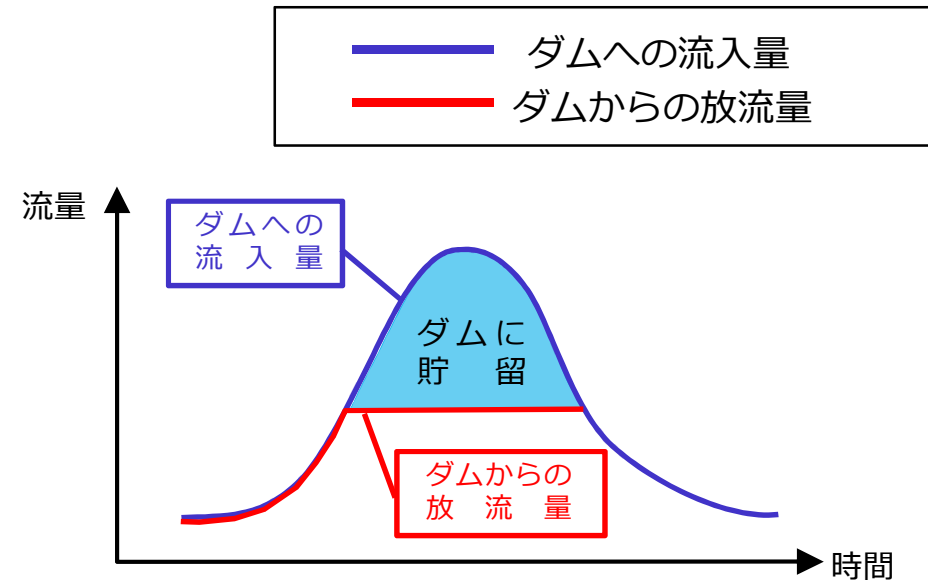
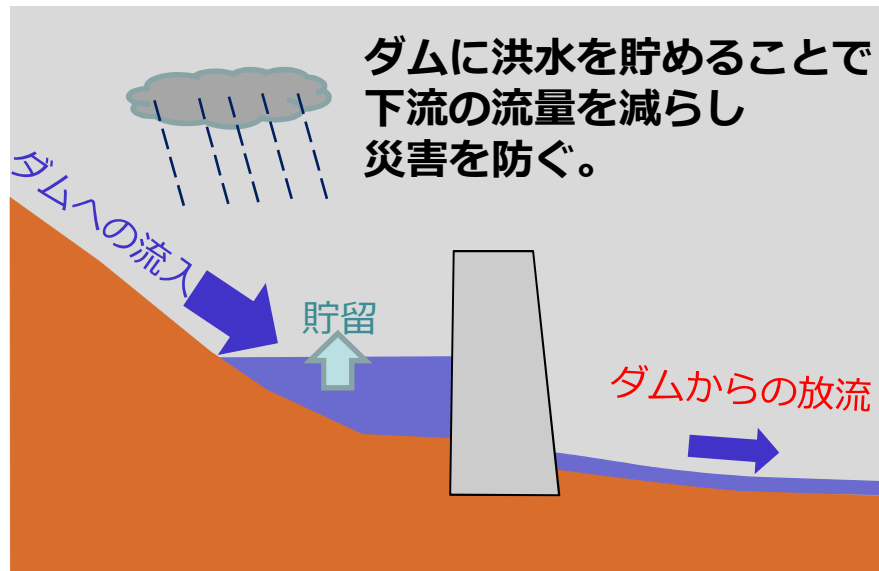
河川カメラにより現在の状況が確認できます。

このカメラは、10分ごとに更新されます。

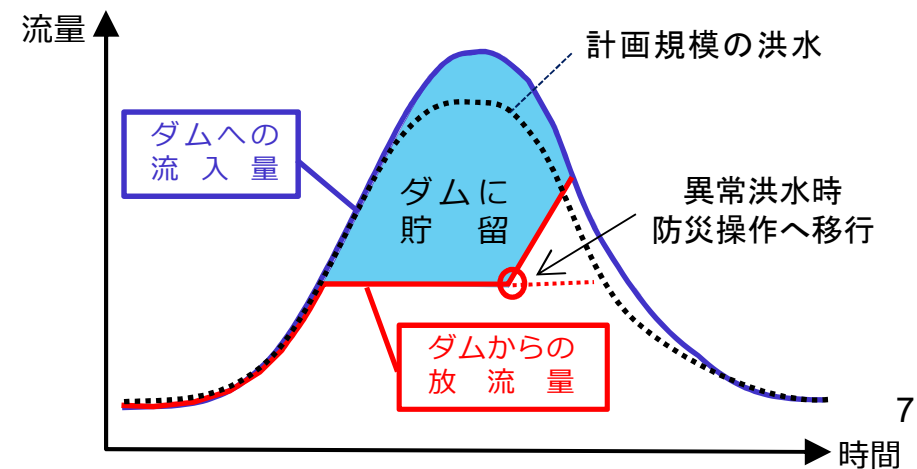
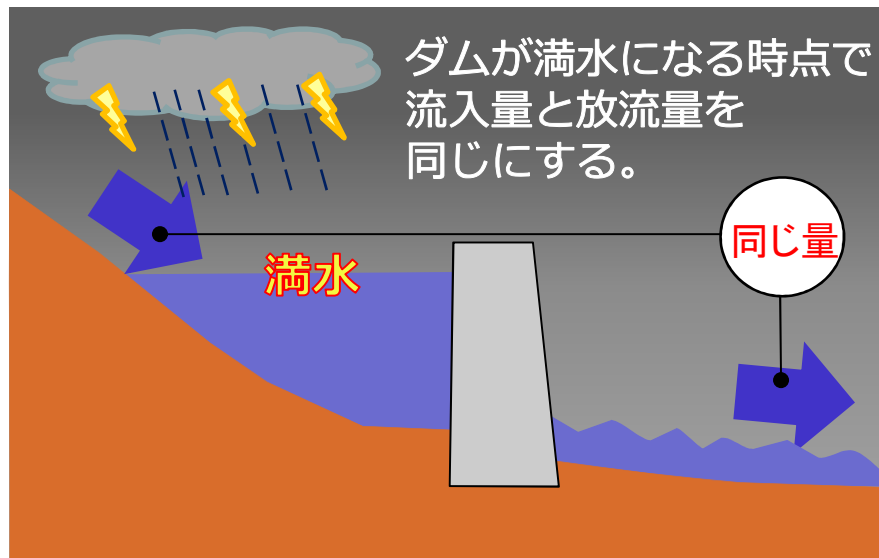


ダムの緊急放流(異常洪水時防災操作)

通常の防災操作 (洪水調節)



異常洪水時防災操作



「川の防災情報」トップ画面

- 洪水予報や河川の水位等は「川の防災情報」で確認できる。
サイトは「川の防災情報」で検索できる(<https://www.river.go.jp/index>)。
【PC又は スマートフォン】



川の防災情報QR

任意の地点を登録→ローカルな情報を手に入れやすく

レーダ雨量、水位、カメラの情報を地図上でまとめて表示

情報マルチページへ【次ページ参照】

「川の防災情報」の活用

○「川の防災情報」「東北」のマルチモニタ画面説明
(<https://www.river.go.jp/portal/?region=82&contents=multi>)。

東北をクリック

川の水位情報

- ・河川水位計
- ・危機管理型水位計
- ・河川カメラ情報
- ・ダム の 状況

浸水の危険性
が高まっている
河川

洪水予報の
発表地域

ダム の
放流通知

洪水キキクル
・気象庁
浸水害の危険度

土砂キキクル
・気象庁
土砂災害の危険度

水害リスクライン
・平面的なリスク情報
・河川カメラ

- 災害から命を守るためには、身のまわりにどんな災害が起きる危険性があるのか、どこへ避難すればよいのか、事前に備えておくことが重要。
- 国土交通省では、防災に役立つ様々なリスク情報や全国の市町村が作成したハザードマップを、より便利により簡単に活用できるようにするため、ハザードマップポータルサイトを公開中。

重ねるハザードマップ (平成26年6月～)

防災に役立つ様々なリスク情報を1つの地図上に重ねて表示

わがまちハザードマップ (平成19年4月～)

全国各市町村のハザードマップを検索

○土砂災害が発生する前は、前兆現象があるので、注意が必要です。

前兆現象の一例



- ①がけから小石がパラパラ落ちてくる。
- ②樹木がゆれたり、かたむいたりする。
- ③斜面から水がわき出る。
- ④斜面にひび割れができる。

※土砂災害は、前兆現象がなく発生する場合があります

土砂災害の特性を考慮した考え方

- 土砂災害警戒区域の「内」から「外」へ避難しましょう
- 避難場所の安全性を確認しましょう

避難場所が土砂災害警戒区域の外にあるか、
事前に土砂災害ハザードマップ等を確認

※指定避難所以外に避難所が開設される場合があります。市町村からの情報に注意しましょう。



出典：石川県中津金町ホームページ

- 避難場所に避難できない倍の「次善の策」を知っておきましょう
- 自宅外に避難できない場合は、高層階への移動を

近隣の堅牢な高い建物(鉄筋コンクリート造等)の高層階へ「移動」



自宅外への避難に余裕がない場合や、既に自宅の外が危険な状況の場合、斜面と反対側の2階以上の部屋に「退避」





土砂災害

身を守る3つのポイント



台風や大雨
に備えて

①お住まいの場所や勤務先などが土砂災害警戒区域か、ハザードマップで確認する。

雨が降り
始めたら

②土砂災害警戒情報や雨量の情報に注意する。

豪雨
になる前に

③大雨時や土砂災害警戒情報が発表された時、夜間の大雨が予想される時は早めに避難する。